

優しい(力で押せる)スイッチ

教科・場面

- 訪問
- ・授業の進行
 - ・お話あそび

授業・実践のねらい

- ・スイッチを使って、児童が主体的に活動に参加できるようにする。
- ・お話の場面で使用することで、話の続きが知りたくてより意欲的に指を動かす。

対象の児童・生徒

- ・小学部 訪問生

教材・教具

- ・Bluetooth マウスとオリジナルスイッチをつないで、ビックマックよりも弱い力でも押せるようにしている。

工夫したところ

- ・スイッチはコードレスで、iPad と離れていても操作が可能。(10m位?)。iPad とマウスを繋ぎ、スイッチを押してkeynote のスライドを進める。
- ・ビックマックよりも弱い力で反応するので、弱い力の児童でも操作がしやすい。



授業展開・教材の使い方・実践の内容など

授業の進行

- ・その日の授業の流れを確認。
- ・活動が終わると一行ずつ消えていく。

お話あそび

- ・スイッチを押すとスタート。
- ・音が止まると、スイッチを押してページをめくる。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・スイッチに関しては、すぐに因果関係に気付き、教師の言葉かけを聞いて指を動かし押す動作が増えた。
- ・回数を重ねることで、話の続きが気になり、主体的にスイッチを押そうとする様子が見られた。
- ・「押していいよ」などの言葉かけをよく聞いていた。いたずらをする場面では「押していいよ」と言っても、不安な様子で保護者の居場所を確認したり教師に視線を向けたりしてすぐには押そうとせず、自分の意志で指を動かしていることが客観的に判断できた。